

足元の運用状況と注目銘柄

～次世代AI × 医療、次世代医療の可能性～

次世代AI株式戦略ファンド

追加型投信/内外/株式



- ▶ 平素は『次世代AI株式戦略ファンド』（以下、当ファンド）に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
- ▶ 本レポートでは、当ファンドの足元の運用状況についてご紹介します。

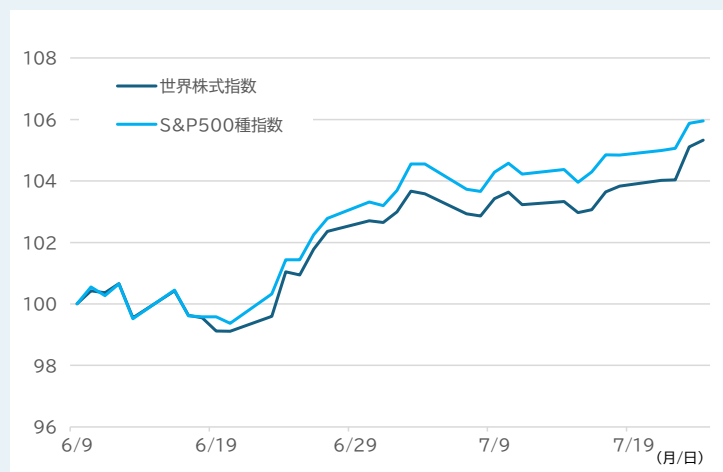
足元の投資環境（2025年6月30日時点）

地政学リスクへの懸念や米国の関税政策を巡る不透明感が入り混じるなか、2025年6月11日に米中両国が通商協議で一定の合意に達したことが発表されたことでマーケットの地合いは改善に向かいました。また、AI関連の半導体企業の好決算などを背景にテクノロジー関連株が大きく上昇し、S&P500種指数やナスダック総合指数など主要米国株価指数は、史上最高値を更新するなど、力強い展開となりました。

外国為替市場においては、中東情勢への懸念などを背景に米ドル高・円安に振れる場面がありましたが、米財政赤字拡大に対する懸念や、弱い経済指標などを背景に米ドル安・円高へ揺れ戻す展開となりました。

図表1 世界株式指数とS&P500種指数の推移

（期間：2025/6/9～2025/7/24、日次）



※世界株式指数: MSCI ACWI Index

※指数は2025年6月9日を100として指数化(米ドルベース)

(出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

足元の運用状況

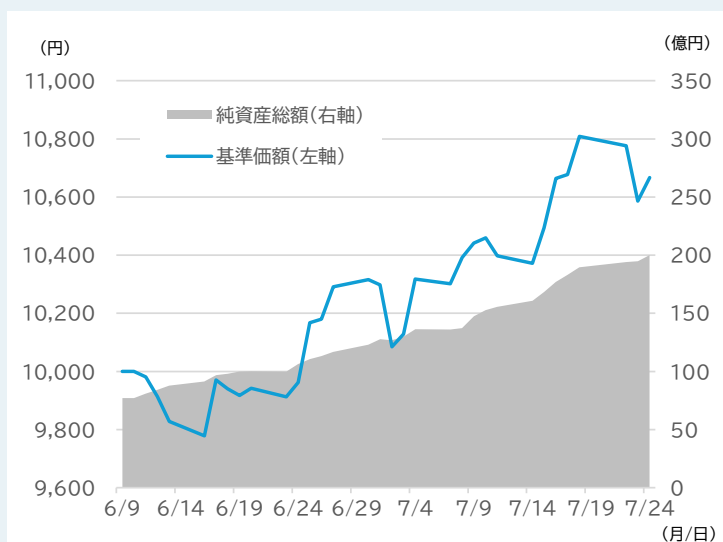
2025年6月は、次世代AI関連銘柄が全体的に堅調に推移したことから、ファンドの基準価額は+3.2%と上昇しました。AIインフラ全体の需要不足懸念が後退したことや、生成AIの進展や、政策期待などが追い風となりました。

ポートフォリオにおいては、エヌビディアの組み入れを増やしました。これは、以下の3つの主要な要素に対する確信が深まったためです。

- ① サプライチェーンの課題解決: 現行世代製品の供給制約が解消され、サプライチェーンの課題が解消。
- ② 新製品の立ち上がり加速: 世界中でソブリンAI*1プロジェクトが加速しており、新製品の立ち上がりが予想を上回っています。
- ③ 推論ワークロードの増加: 企業がAIのトレーニングから実運用へと移行するにつれて、推論ワークロード*2の量が大幅に増加。これにより、需要の勢いが持続すると考えられます。

図表2 当ファンドの設定来パフォーマンス

（期間：2025/6/9～2025/7/24、日次）



*1: 国家や組織が自国や自社のデータ及び技術を基に独立して運用・管理するAIシステム

*2: 機械学習モデルを本番環境で実行し、入力データに対して予測や判断を行う処理

NEXT GENERATION

今後の見通し

次世代AIを取り巻く環境は、急速に進化を続けています。生成AIの導入は加速しており、その導入スピードや投資収益率は想定を上回っています。これは、AIがまだ普及の初期段階にあるにも関わらず、既に高い成果が出始めていることを意味し、今後の更なる成長の可能性を強く示唆していると考えています。

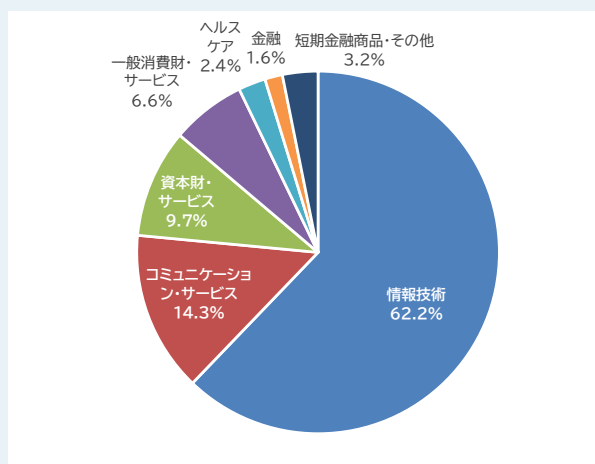
次世代AIは多くの産業に応用が広がる“汎用技術”と捉えることができるため、今後はインフラ企業に加え、AIを活用して新たな価値を生み出すイノベーター企業にも収益機会が広がっていくと見ています。

当ファンドでは市場環境に合わせてインフラ企業とイノベーター企業の両方にバランスよく投資しながら、競争優位性を持ち、成長が期待される企業に投資を続けてまいります。

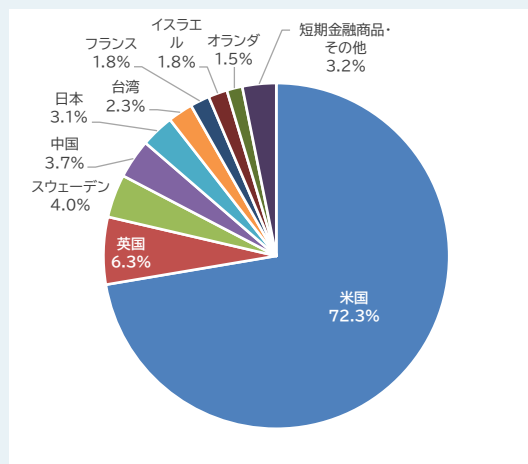
ポートフォリオの状況(2025年6月30日時点)

当ファンドの実質的な投資対象である「アクサ IM 次世代AI関連株式マザーファンド」(以下、投資先ファンド)の6月末時点のポートフォリオは以下の通りです。業種別では、情報技術が約62%と過半を占め、次いでコミュニケーション・サービス、資本財・サービスの順となっています。また、国・地域別で見ますと、アメリカが約72%と大半を占めており、その他は欧州やアジアの国々に数%ずつ投資しています。

図表3 業種(GICS)別構成比率



図表4 国・地域別構成比率



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

図表5 組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	セクター	組入比率
1	エヌビディア	米国	情報技術	6.3%
2	バランティア・テクノロジーズ	米国	情報技術	4.2%
3	ブロードコム	米国	情報技術	4.1%
4	スポティファイ	スウェーデン	コミュニケーション・サービス	4.0%
5	アーム・ホールディングス	英国	情報技術	3.6%
6	ロブボックス	米国	コミュニケーション・サービス	3.5%
7	クラウドフレア	米国	情報技術	3.3%
8	ジェイフロググ	米国	情報技術	3.3%
9	シノプシス	米国	情報技術	3.2%
10	アクソン・エンタープライズ	米国	資本財・サービス	3.1%

※比率は、投資先ファンドの純資産総額に対する比率です。

(出所)アクサ・インベストメント・マネージャーズのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

NEXT GENERATION

注目が集まる“フィジカルAI×医療(ヘルスケア)”

次世代AIの進化が加速する中、私たちは“フィジカルAI”という領域に注目しています。これはAIが現実世界そのものに働きかけ、人間の身体的能力を拡張・補完する技術群を指します。自動運転や倉庫や工場で働くAI搭載ロボット、さらには医療分野における手術支援など、“現実世界で動くAI”の時代がいま、現実のものとなり始めています。次世代AIの社会実装はまだ始まったばかりですが、医療・ヘルスケア分野でのフィジカルAIの進化は目覚ましく、実用段階に入る技術も登場しています。今後、医療の質の向上、医師や患者の負担の軽減、さらには人手不足の解消という構造的課題への対応においても、そのインパクトは計り知れず、成長が強く期待されています。

今回は「フィジカルAI×医療(ヘルスケア)」の最前線を走る企業として、以下2社をご紹介します。

プロセプト・バイオリボティクス

国:米国

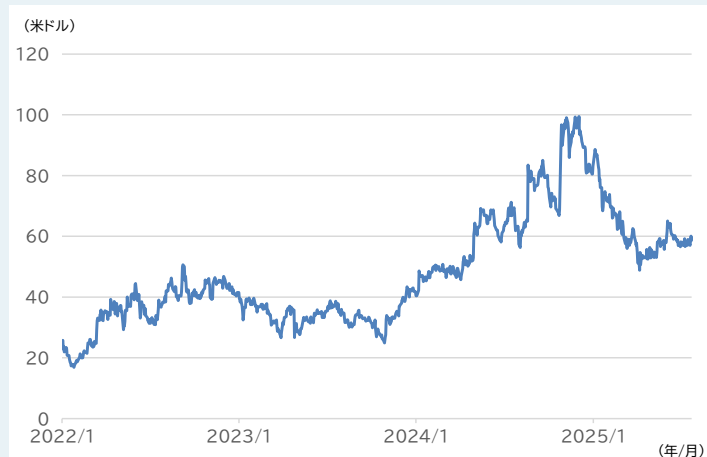
業種:ヘルスケア

時価総額:31.8億米ドル

前立腺肥大症の治療に特化した外科用ロボットを開発する米国の医療機器メーカー。

AIとロボティクスを融合させた手術支援システム「AquaBeam」により、低侵襲手術を実現。さらに同システムに搭載されたAI機能が手術中に使用される超音波画像をリアルタイムで解析。手術における最適な切除範囲を判断し、医師を支援することで、手術の精度向上と医療の標準化を両立。フィジカルAIの先駆企業として、米国を中心に成長中。

図表6 プロセプト・バイオリボティクスの株価推移
(期間:2022/1/3~2025/7/24、日次)



リカージョン・ファーマシューティカルズ

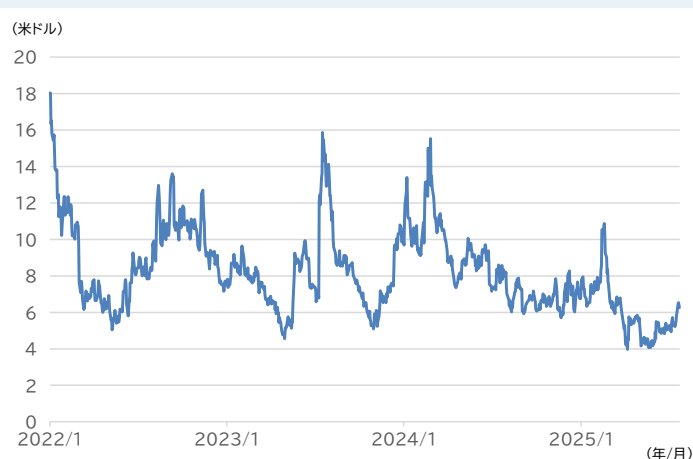
国:米国

業種:ヘルスケア

時価総額:20.5億米ドル

AIを活用して創薬の在り方を根本から変革する企業。AIとロボティクスを使用して膨大な薬剤と細胞の反応データを同時にテスト・解析。人間による治験を行う前に、どの薬剤が有望かを事前にAIによって見極めることでコストと時間の大幅削減を実現する“フィジカルAI創薬”を推進。また、同社は製薬業界としては業界最速のスーパーコンピューターを所有しており、膨大な生物学的データを前例のない規模で処理するなど、業界で最も包括的なAI創薬プラットフォームを構築している。

図表7 リカージョン・ファーマシューティカルズの株価推移
(期間:2022/1/3~2025/7/24、日次)



* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

(出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

販売会社一覧

2025年7月29日現在



受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
 なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		

委託会社
お問い合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

次世代AI株式戦略ファンドに関する留意事項



投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因は、「カントリーリスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。

お客様にご負担いただく費用

- 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。
 - 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.2925%（税抜1.175%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×年率1.826%（税抜1.66%）程度
※実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料：監査費用〔純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）〕
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料で使用しているインデックス>

- MSCI ACWI IndexはMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



商 号 等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。